

品川・生活者ネットワーク

品川・生活者ネットワーク区議会議員

吉田ゆみこ

品川・生活者ネットワーク政調会長
●総務委員会●消防団運営委員会
●土地開発公社評議員●議会だより広報会議
https://yoshidayumiko.seikatsusha.me/

NEWS no.128



品川・生活者ネットワーク区議会議員

田中さやか

品川・生活者ネットワーク幹事長●
文教委員会●廃棄物減量等推進審議会
●災害・環境対策特別委員会●品川
文化振興事業団評議員●議会改革
推進会議●議会改革ICT推進会議
tanakasayaka.seikatsusha.me/

●発行/品川・生活者ネットワーク ●発行責任者/田中さやか
●〒140-8715 品川区広町2-1-36 ●TEL03-5742-6862
●FAX03-5751-7106 ●発行日 2022年8月10日
●E-mail shinagawa@seikatsusha.net

区議会 REPORT

給食食材費高騰に伴う給食費増額分を区が負担するための補正予算がつけました

品川・生活者ネットワーク区議会議員 吉田ゆみこ



ウクライナ危機に端を発した食材費高騰の影響は、当然学校給食にも及び「給食費が上がるのでは?」「給食の量や質が落ちるのでは?」と心配する方も多かったと思います。

第二回定例議会では、給食食材費高騰に伴う給食費増額分を給食費に反映させず、区が負担するという趣旨の補正予算がつけました。今回の補正予算は、

国からの「原油価格・物価高騰等総合緊急対策による交付金」を活用し、区が負担する期間は来年3月まで。それ以降は「その時の状況で判断」ということです。しかし、現在の物価高騰についてはその背景を考えれば簡単には終息しそうもなく、高騰分の補填は継続的に検討をする必要があります。

給食について検討する際、費用の負担をだれがするかという問題と同時に、どのように「質の確保」をするか、の議論も重要であると生活者ネットワークは主張を続けています。

特に、昨今の社会情勢の中で生活に困窮する世帯が増え、給食が子どもたちの食の重要な部分を占めるを得ないという厳しい現実、学校給食が果たす役割が重くなっており質の確保は必須です。

幸い、現時点での品川区の学校給食は「スープは豚骨・鶏ガラから、だし汁は削り節や昆布から」と「食品添加物(着色料・漂白剤・発色剤・保存料等)」を使用した食品や遺伝子組み換え食品、農薬は可能な限り避ける。」などを明言しており、評価する保護者の声も届いています。少なくとも現在の質は保持すべきです。

費用負担の問題も重要です。品川区の給食費は2008年から変わっていません。教育委員会への聞き取りによると、すでに「文科省で定められた必要カロリーはギリギリであり、現在の給

食費で現在の質と量を賄うのは困難」ということでした。今回の補正予算のようにいっても国や都の交付金を当てにばかりはできません。いずれ給食費の値上げの議論が始まり、おそらくそれを契機に給食費を全額税で賄う「給食費無償化」の議論が起ることが予測されます。「無償化は良いけれど質が落ちるのでは?」「お金を払わないと結局は発言の権利が弱まる」など懸念の声もあります。税で賄うのであれば、現時点で給食を利用している児童の保護者だけでなく大勢を巻き込んだ議論が必要です。

給食が子どもたちの「食」に果たしている役割を考えれば、「無償化」は必然でしょう。しかし、同時に「質の確保」は大前提です。

誰にとっても必要なトイレ。しかし、必要なトイレの機能については、子育て世代や高齢者、障がい者の種別により異なります。誰もが負担なく使えるトイレを設置するためには、当事者と共にトイレ機能の状況をまずは確認することが必要と考え7月16日に区有施設のトイレ調査を実施しました。



市民の声がまちを変える

品川・生活者ネットワーク区議会議員

田中さやか



イレであっても、オストメイト対応しやユニバーサルシートがないなどの課題が見えました。ユニバーサルシート付きのトイレが設置されている公共施設内でも、サイズが小さく、体格の大きな高齢者や障がい者の利用には課題があることも分かりました。

当事者からも様々な声が寄せられます。例えば、乳幼児と保護者が個室トイレに一緒に入った時に、子どもが誤って鍵を開けてしまい、どきりとした。ユニバ

コラム

羽田新駅検討経費の補正予算に反対しました

今議会に上程された補正予算は、1~2歳児の子育て世帯対象の支援策、食材費高騰による給食費増額分の補填など必要な事業であり、これらには賛成しました。しかしその中の「羽田アクセス線の新駅検討経費」計上に納得できず総合審査で反対しました。

本来、補正予算は、年度当初の予算計上の際には定まっていなかった国や都の補助金や助成金を活用しての事業を行う際か、社会の状況変化に応じた事業が必要となった場合に計上されるものです。「羽田アクセス線の新駅」は長期計画ですすでに想定していた事業であり予算も区の負担です。本来当初予算に計上するのが妥当です。このような補正は、当初予算の精査を甘くし、予算特別委員会審議の軽視に繋がるため認めるべきではないと判断しました。

ーサルトイレに車いすが入らうとしたら、すぐにドアが閉まって入れないトイレがある。区内公共施設のトイレの洗浄ボタンや非常ボタンの配置が統一であれば、介助なしでも安心して使用できるという視覚障がい者から要望の声、等々です。

自分だけの課題かと思うことも、声を挙げてみると大勢の



ユニバーサルシートの本当の使い勝手は当事者でなければわからない。車いすユーザーの参加を得て、実際に試した。車いすをとめる位置とベッドの位置にもうひと工夫必要とわかった。まだ修正がきく段階で当事者の声を聞くことが必要。

人にも当てるべきです。一人の気づきを社会化することが、生活者ネットワークの役割です。

幼児が戸を開けてしまう事例に対して、区へ補助鍵の設置を要望し、今年2月区庁舎トイレに設置されました。

新築時の施設や改築時、またはトイレの改修時には、ユニバーサルトイレ、ユニバーサルシートの設置は当たり前にし、将来的には品川区内公共施設のトイレが誰にとっても使いやすいユニバーサルデザイン化を提案していきま



外出先のトイレ使用によっては利用できない方もいる。調査から課題を見つけ政策提案に繋げていく。政策委員長のなつき孝子(右から3人目)とネットメンバー。(2022.7.16)